第3期

徳之島町まち・ひと・しごと

総合戦略

令和7年3月
徳之島町

目次

第1章　第3期徳之島町まち･ひと･しごと総合戦略策定にあたり

1　はじめに ･･･ 1
2　基本的な考え方 ･･･ 1
3　人口ビジョン･･･ 2

第2章　第2期総合戦略の振り返り･･･････････････････････････････････ 7

第3章　総合戦略の基本目標と具体的施策

＜基本目標1＞一次産業をはじめとする新たな産業の構築と求められる雇用を創出するまちづくり･･･ 16
＜基本目標2＞教育環境の充実と子育て環境の充実したまちづくり･･･････････････ 19
＜基本目標3＞自然環境の保全と観光産業を両立するまちづくり･･･････････････ 21

第1章

第3期徳之島町まち・ひと・しごと総合戦略策定にあたり

1 はじめに

徳之島町においては、「第2期徳之島町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」（令和2年度～令和6年度）に定めた、人口減少の抑制及び人と自然と産業が共生する躍動感あふれるまちづくりに向け、各種事業を実施しているところである。

令和6年度は第2期総合戦略の最終年度であるため、総合戦略に掲げられ実施した全事業の KPI 等の検証を実施、各事業の成果や課題を第3期総合戦略に活かすことや地方創生のさらなる深化に向け、切れ目のない取組を進めることが求められた。

第３期総合戦略は、上記を踏まえるとともに社会情勢の変化や本町に関係の深い「SDGs」や「世界自然遺産登録」などの要素を加え策定したところであり、本町の新たなステージに向け、「産官学金」等の協働により、これらの施策を着実に推進していく。

2 基本的な考え方

「第3期徳之島町まち・ひと・しごと総合戦略」の位置付け

1. 引き続き、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づき、「徳之島町人口ビジョン」で描いた将来展望に向け、人口減少の抑制及び人と自然と産業が共生する躍動感があふれるまちづくりに向けた、今後5年間（令和7年度～令和 11 年度）の施策の方向性を示した計画とする。
2. 「第6次徳之島町総合計画」との整合性を十分に図り、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」の活性化につなげる「地方創生」に向けた取組に重点を置いた「総合戦略」とする。

持続可能な開発目標（SDGs）との関係

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、平成27 年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。

本町においては、令和元年7月1日に SDGs 未来都市に選定され、「あこがれの連鎖と

幸せな暮らし」の実現に向けて、経済・社会・環境の統合的な取組を推進していくこととしている。

3　人口ビジョン

長期目標：令和 32（2050）年まで、7,015 人を維持

短期目標：令和 12（2030）年まで、8,671 人を維持

国立社会保障・人口問題研究所（以下：社人研）により、令和2年度国勢調査結果をもとに算出された将来人口推計では、2025 年には 10,000 人を下回り、年々人口減少し、2050 年には 6,145 人まで減少する推計結果となっている。

本町においては、総合戦略を通じて、人口減少の緩和に向けて取り組みを推進していく。以下のとおり、人口変動要因に対する目標を設定して独自推計を行い、人口の将来目標を、長期的には 2050 年まで 7,015 人を維持、短期的には 2030 年まで 8,671 人を維持することとした。

（推計条件の設定）

〇合計特殊出生率（自然増減）

自然増減の仮定：2050 年における合計特殊出生率の目標数値を設定。

パターン①：2.17（社人研推計値）

パターン②：2.25（「2023 年人口動態統計」（厚生労働省）内、徳之島町数値）

パターン③：2.00

〇純移動者数（社会増減）

社会増減の仮定：純移動者数増を 2050 年に達成

・「15～19 歳」階級の進学による転出者数を抑制することは、社会構造上困難と考えられるが、就職による転出の抑制、U ターン者増加をさせることで生産年齢人口減少の抑制を目指す。

・「25～29 歳」「30～34 歳」「35～39 歳」の階級は、現在でも転入者は多くいるが、島内、U ターンだけではなく、島外からの転入者数の増加も目指す。

・「40～44 歳」「45～49 歳」の子育て世代階級が男女共に転出者数を抑制することで「5～9 歳」「10～14 歳」の年少人口転出にも抑制をかけることを目指す。

・「65～69 歳」以上の階級については、退職後の転入の増加だけではなく、「長寿の島」として老年人口も安心して暮らせる町を作ることで転出超過を緩和することを目指す。

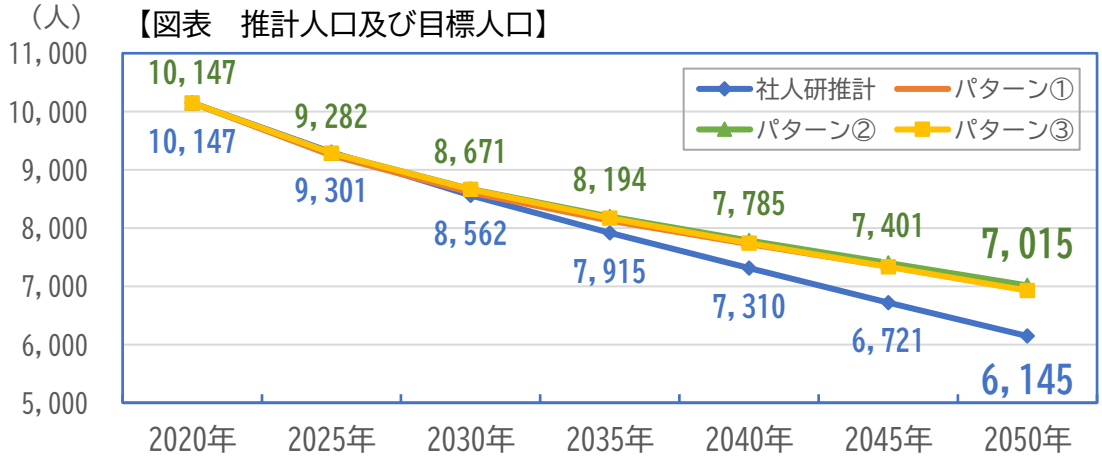
【図表　人口の社会増減における　年代別　5 年間　転入出超過人数】

	過去 5 年間実績（2019-2023）		2050 年時目標値（2046-2050）		実績-目標値	
階級（歳）	男	女	男	女	男	女
5～9	-27	-18	0	0	27	18
10～14	-40	-49	-25	-35	15	14
15～19	-145	-110	-145	-110	0	0
20～24	19	-57	30	-45	11	12
25～29	28	52	50	75	22	23
30～34	18	5	35	25	17	20
35～39	7	-4	20	10	13	14
40～44	9	-10	15	-5	6	5
45～49	-4	-29	0	-20	4	9
50～64	-7	-2	0	0	7	2
65～69	28	5	28	5	0	0
70～	-5	-61	0	0	5	66
合計	-119	-278	8	-100	127	183

（2050 年人口目標の設定）

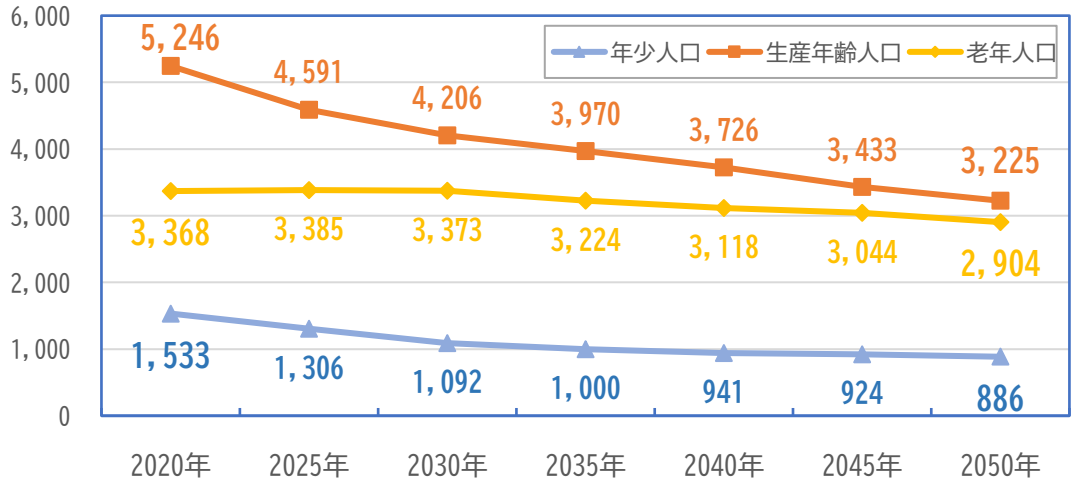
2023 年全国１位となった合計特殊出生率「2.25」を 2050 年まで維持し、若者が戻りたい、移り住みやすい町となるよう、雇用を創出し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、老後まで安心して暮らせるまちを目指すことで、2050 年までに純移動者数増を目指す、「パターン②」を採用する。

【図表　推計人口及び目標人口】



推計内容	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年
社人研推計	10, 147	9, 301	8, 562	7, 915	7, 310	6, 721	6, 145
パターン①出生率 2.17＋2050 年純移動数増	10, 147	9, 244	8, 611	8, 126	7, 723	7, 337	6, 935
パターン②出生率 2.25＋2050 年純移動数増	10, 147	9, 282	8, 671	8, 194	7, 785	7, 401	7, 015
パターン③出生率 2.00＋2050 年純移動数増	10, 147	9, 282	8, 663	8, 171	7, 742	7, 335	6, 926

【図表　パターン②　３区分人口】



第2章

第2期総合戦略の振り返り

1　第2期総合戦略の取組

第2期総合戦略における基本目標

基本目標1	徳之島町にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
基本目標2	徳之島町への新しいひとの流れをつくる
基本目標3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
基本目標4	時代にあった地域をつくり、安全なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

基本目標ごとの施策、KPI 数

基本目標	具体的な施策	重要業績評価指数（KPI）
1	8項目	9指標
2	11 項目	13 指標
3	6項目	6指標
4	5項目	5指標
計	30 項目	33 指標

2 現状の確認

＜基本目標1＞
徳之島町にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす

（1）地域資源活用事業

事業内容					
シマに自生する作物等の栽培技術の確立（担い手の育成をあわせた）と大学等との連携による成分分析を行い、作物の高付加価値化を図る。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
販売に繋げることができた自生作物数〈累計〉	品	0	3	0	×

（2）ふるさと特産品活性化促進事業

事業内容					
美農里館や民間事業者による地場農産物等の加工品開発や既存のふるさと特産品やシマアザミの商品を合わせた主要都市におけるプロモーションを展開する。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
加工品の開発数〈累計〉	品	0	3	0	×
新規販路開拓企業数〈累計〉	件	0	5	0	×

（3）高校との連携による特産品開発プロジェクト

事業内容					
特産品開発を通して、将来の徳之島を担う高校生が、徳之島のもつ魅力を発見し、「仕事をつくる」という起業家マインドの醸成を図る。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
新特産品開発数〈累計〉	品	0	3	3	○

（4）シマッ子ガイド育成事業

事業内容					
・地元 NPO と協働し、徳之島に自生する植物の観察会やウミガメ等の生き物の観察会を開催する。 ・外部の専門家を講師として招き、小中学生を対象としたエコツアーガイドの育成講座を開講し、小中学生によるエコツアーを実施する。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成 度
エコツアーガイド新規育成数〈累計〉	人	0	30	10	×

（5）観光連盟の体制強化及び観光施設整備事業

事業内容					
観光連盟の体制を強化し、観光客を受け入れる「おもてなし体制」を整える。徳之島の「強み」であるシマの文化の多様性、「ひと」の魅力を発信することにより、交流人口の拡大やシマの経済効果創出を図る。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成 度
延べ宿泊者数	人	26,527	39,785	39,785	○

（6）観光連盟の体制強化及び観光施設整備事業

事業内容					
ICT の進展により外海離島であることによる条件不利性が改善してきていること等を踏まえ、情報関連企業の誘致や起業支援を図り、ICT を活用した地域づくりや産業振興に取り組む。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成 度
企業誘致数〈累計〉	社	0	3	1	×

（7）コミュニティースペース等活用事業

事業内容					
既存施設の改修等を行い、地元やUIターン等の人が店舗を構えて新たな事業にチャレンジできる環境を整える。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成 度
本事業に基づく新規店舗数〈累計〉	店舗	0	6	5	○

（8）おもてなし「郷土料理」開発事業

事業内容					
本町には、郷土料理として観光客等に提供できるものが少なく、今後、世界自然遺産登録された後の観光客の増加を見越し、新たなおもてなし料理を開発する。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成 度
新郷土料理を置いている店舗数〈累計〉	店	0	8	0	×

＜基本目標2＞

徳之島町への新しいひとの流れをつくる

（1）スポーツ・文化合宿等誘致推進事業

事業内容					
年間を通して温暖な気候を活かし、奄美群島外のスポーツ・文化団体が本町内の施設を利用し、スポーツ・文化合宿等を実施することを支援する。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
本事業に基づく合宿団体数〈累計〉	団体	0	15	26	○
本事業に基づく合宿延べ人数〈累計〉	人	0	400	7,411	○

（2）体験プログラム造成事業

事業内容					
基幹産業である農業と海などの豊かな自然を活かした島の独自の体験プログラム（マリンスポーツ等）を造成し、交流の拡大と生産（島）と消費（都市）の相互認識のきっかけをつくる。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
新規プログラム造成数〈累計〉	プログラム	0	5	0	×
新規体験人数〈累計〉	人	0	500	0	×

（3）環境保全推進事業

事業内容					
徳之島固有の希少野生動植物を守り、豊かな自然を新たな地域資源として利活用しながら、交流人口の増加を図る。将来的には、「小さな拠点」の考え方を踏まえ、自然と人が共存できるシマづくりを目指す。 今後見込まれる「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録を好機と捉え、観光拠点のさらなる美化を推進し、徳之島のイメージアップを図る。併せて、本活動を通した住民のわきゃ島・シマへの「誇り」の醸成に取り組む。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
徳之島におけるアマミノクロウサギ生息確認メッシュ	個	90	100	97	○

（4）孫世代ふるさと留学・教育移住促進事業

事業内容					
少人数でのきめ細かい指導が可能な教育環境や ICT 活用教育推進事業を強みとして発信し（現在実施している移住・定住 PR と連携）、徳之島出身者を祖父母にもつ孫世代のふるさと留学・教育移住を促進するとともに、ふるさと留学・教育移住の受け入れに向けた交流事業を住居や保護者の就労相談も含めた観点から実施する。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
本事業に基づく留学生の人数〈累計〉	人	0	10	12	○

（5）域学連携交流推進事業

事業内容					
高等教育機関がない本町にとって、大学が身近に感じられるような環境づくりと「若者」「よそ者（域外者）」との交流により、新しい視点や行動力を活用した島・シマづくりの後押しと、大学（生）が関係人口として本町に持続的に関わることのできるプログラム構築を図る。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
本事業に基づく交流人口〈累計〉	人	0	150	140	○

（6）空き家改修事業

事業内容					
青年団、集落及び大学、行政などが連携した「空き家改修ワークショップ」を開催し、シマ主体での空き家活用のきっかけをつくる。 また、「空き家バンク」と連動した、金融機関との連携による空き家改修等に関する助成制度を立ち上げる。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
本事業に基づく空き家改修数〈累計〉	件	0	5	1	×

（7）島暮らし促進事業

事業内容					
UIターン促進に特化したポータルサイトの立ち上げなど、移住・定住に関するワンストップの相談機能の構築に取り組む。 空き家を活用した島暮らし体験・交流事業、民泊事業を実施することにより、“豊かな”島の暮らしを島外へアピールし、交流人口の増加と移住の促進を図る。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
空き家バンクへの新規登録数〈累計〉	件	1	10	0	×

（8）UIJターン移住・就業支援事業

事業内容					
県と連携しながら、東京圏からの移住促進を推進することで町内中小企業等における人手不足状況を緩和し、足腰の強い産業基盤の整備やそれに伴う雇用の場の確保などを着実に進め、地域の再生・活性化を図るため、マッチングサイトに掲載される県内企業へ就職した者に対し、移住支援金を支給することで、金銭的負担を軽減する。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
本移住支援事業に基づく移住就業者数〈累計〉	人	0	5	3	×

（9）地域課題解決型起業支援事業

事業内容					
地域社会が抱える課題の解決に資する社会的事業を新たに起業する者に対し、起業に必要な経費の一部の補助を行う。また、地域課題解決に効果的な起業を促進するため、事業立ち上げ等に関する伴走支援を行う。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
本起業支援事業に基づく起業者数〈累計〉	人	0	3	3	○

（10）公共下水道の整備と普及促進

（11）浄化槽の普及促進

事業内容					
町が行う公共下水道整備と併せて、くみ取り便所を水洗便所に改造し下水道に接続する排水設備工事や既設の浄化槽を撤去して下水道に接続する排水設備工事に対する助成を行う。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
汚水処理施設整備促進（汚水処理人口普及率向上）	%	66.4	74.3	77	○
事業内容					
公共下水道以外の区域における一般住宅や事業所等への浄化槽設置に対する助成を行い、浄化槽の普及促進を図る。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
し尿処理経費の縮減	千円 /年	63,700	29,400	16,000	○

＜基本目標3＞
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

（1）妊娠・出産包括支援事業

事業内容					
母子保健相談支援、産前・産後サポート、各種相談支援、産後ケアなど、妊娠・出産に係る各種事業を組み合わせ、産前から産後にかけての包括的な母子へのケア及び育児支援の充実に取り組む。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
出生数	人	87	100	80	○

（2）出産支援事業

事業内容					
新生児の誕生を祝福し、経済的負担を少なくすることで、若い世代の定住と子どもの増加を図る。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
出生数	人	87	100	80	○

（3）ジュニア・リーダー育成事業

事業内容					
わきゃ島・シマへの愛郷心を育み、異年齢グループでの共同活動を通した、未来のリーダー人材育成に取り組む。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
ジュニア・リーダー	人	35	35	平均:30	○

（4）「探求」を軸とした高校連携事業

事業内容					
「総合的な探求の時間」等を念頭に置いた、島をフィールドとした課題探求型の学びの構築を図る。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
プログラム参加生徒(1 年生)を対象にした U ターン志向上昇率	%	30	50	80	○

（5）ICT を活用した教育環境の整備

事業内容					
高等教育機関がない離島の条件不利性を改善するため域学連携を推進するとともに、ICT 等を利活用した学習環境を整備し、学士村塾や向学塾での多様な学びと教育の質の向上を目指す。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成 度
向学塾の皆勤賞人数	人	0	10	6	×

（6）特定健診受診率向上事業

事業内容					
本町は昭和 60 年に健康と長寿のまちづくりを目指し「健康のまち宣言」を行っているが、特定健診受診率は平成 30 年度 36.9%と低く（国の目標 60%）、若い時からの健康づくりとして生活習慣病や慢性腎臓病の予防の推進が必要である。今後、健康づくりに取り組む人が増えることで健康寿命の延伸を目指す。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成 度
特定健診受診率	%	36.9	60.0	38	×

＜基本目標4＞
時代にあった地域をつくり、安全なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

（1）「シマデザイン」策定支援事業

事業内容					
シマの将来像や事業の取り組み方向について、地域の住民が主体的に参画し、その見取り図（「シマデザイン」）を策定するための各種支援を実施する。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
シマデザイン策定集落数〈累計〉	集落	0	4	1	×

（2）集落づくりの助成の仕組みづくり

事業内容					
「シマデザイン」に基づく事業について、外部有識者と行政による採択審査（集落のプレゼンテーション等）を行い、事業計画が採択された集落への補助（金・人）の仕組みをつくる。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
補助を受けた集落数〈累計〉	集落	0	4	1	×

（3）伝統文化の魅力活用事業

事業内容					
現在、伝承活動が途絶えている伝統芸能について、復活に向けた活動支援と記録化を図り、シマの伝統文化がもつ魅力の活用に取り組む。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
活動記録支援事業数〈累計〉	事業	0	3	0	×

（4）シマの防災安全仕組みづくり

事業内容					
集落、学校、PTA、青年団など、「シマぐるみ」の防災に関する合意形成や組織づくり（見直し）を進め、シマの実情に即した防災の仕組みを構築する。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
自主防災組織の新しい枠組み形成	組織	28	12	28	×

（5）集落リーダー発掘事業

事業内容					
各集落のリーダーを選定し、リーダーが中心となり各集落が「シマ博」のような受け入れ団体になるよう体制づくりを行う。					
KPI	単位	R2 基準値	R6 目標値	実績 R6 見込	達成度
事業実施集落数〈累計〉	集落	0	4	0	×

3 第2期の検証を踏まえた方向性

「第2期徳之島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和2年度から令和6年度までに事業実施した 30 事業について検証を行った。

「第3期徳之島町まち・ひと・しごと総合戦略（令和7年度～令和 11 年度）」策定の方向性については、第2期総合戦略の検証の成果及び課題を踏まえ併せて国、県の指針並びに徳之島町独自の施策等を勘案しながら提案する。

1. 「政策5原則（1. 自立性・2. 将来性・3. 地域性・4. 総合性・5. 結果重視）」を踏まえた施策の中でも「5. 結果重視」は特に重要である。事業計画においては KPI（重要業績評価指標）の数値設定ができない事業は計画しないこと。（成果を重視した目標設定）

2. 事業計画には地方創生推進交付金（1／2補助率）と奄振事業や他所管省庁の補助事業等と比較し、その事業計画との棲み分けについても考慮すること。

3. 本町は、内閣府より2019年度「SDGs 未来都市」に鹿児島県で初めて選定された。今後は「あこがれの連鎖と幸せな暮らし創造」事業として地方創生推進事業を重点的に活用した事業を推進すること。

4. 世界自然遺産に登録され、来訪者の満足度を高めるために徳之島の観光受入れ環境整備に力を入れること。特に、自然環境の保護保全と両立するエコツーリズムの推進、キャッシュレス化の充実及び徳之島観光連盟の体制強化等に力を入れること。

5. 本町においても、少子高齢社会の影響で高齢化率が50%を超える集落が増えてきており、その自治会組織としての機能が低下してきている。近年の異常気象や犯罪の複雑化、多様化に備えた防災、安心・安全な自治会組織の強化が求められる。各集落単位でリーダー的存在の発掘や研修の取組が求められている。

6. 本町は「健康どぅ宝」21に基づいて、町民の健康増進のための施策として、各種検診を実施している。「心の通い合う健康と福祉の元気なまちづくり」を推進する施策として集団検診等の受診率を上げる対策が必要である。

7. 地域住民の生活水準が向上することで、消費活動が促進され本町の経済循環を良くするため、しごとをつくり雇用を創出する必要がある。

8. 人口減少や高齢化が著しく、本土との条件不利性がある離島において、AI や IoT などの新技術を活用して「スマートアイランド」を目指す。
   本町は平成27年度に文科省より「人口減少社会における ICT の活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」の「離島複式モデル」指定をうけており、ICT、プログラミング教育では先進地であり、さらなる取組が求められている。

デジタル化の進展やコロナ後における社会情勢の変遷に伴い、人の価値観やライフスタイルも多様化している。

第2期戦略に基づく取り組みにより得られた成果や課題を踏まえ、多様性・包摂性を織り込みながら、人と自然が共生するみらい輝く新たな時代へのまちづくりを推進する。

第3章

総合戦略の基本目標と具体的施策

前章の検討を踏まえ、本町の第3次総合戦略における基本目標を以下の通り掲げる。

＜基本目標1＞一次産業をはじめとする新たな産業の構築と求められる雇用を創出するまちづくり
＜基本目標2＞教育環境の充実と子育て環境の充実したまちづくり
＜基本目標3＞自然環境の保全と観光産業を両立するまちづくり

第3期総合戦略においても、各施策の重要業績評価指標（KPI）より適宜検証し、その結果に基づき、PDCA サイクルを効果的に回し、基本目標の実現に導いていく。

＜基本目標１＞ 一次産業をはじめとする新たな産業の構築と求められる雇用を創出するまちづくり

基本目標	本町の産業全般において、雇用の場及び担い手不足等の課題があります。また、ICT・IoT技術の導入による事業スタイルの変化への対応についても様々な課題がある。この課題に対応しつつ各種産業がさらに発展していくためには、グローバル化が進展していく中で、国内外において持続可能な各種産業を牽引することができる力を育むことが重要である。 本町では、「持続可能な社会の創り手」を育むために、幼児教育の充実や義務教育を中心にICTを活用した遠隔教育やプログラミング教育などのGIGAスクール構想を推進し「最先端の学びの町」を実現する。また、多様化する社会環境に適切に対応できる心豊かで郷土を愛する人材の育成に努めることにより、世界で活躍できる人材、また、島内においても本土と格差なく事業を行える環境づくりを推進し、地域経済循環の重要な要素である地域内での雇用の確保、地域の所得の増加を図っていく。

基本的方向と数値目標	・新しい時代に対応できる子どもの育成を目指した「最先端技術の利活用による学校教育の改善・充実」 ・幼児教育における教育の質の向上 ・ICTを活用したスマート農業の推進や農業の振興 ・地産地消及び食育の推進 ・安定的な漁獲量、供給体制の確立を目指した水産業の振興 ・多様化する社会に対応するため、本町の民間企業の積極的な取組を支え、ICTを活用した新しい経営の促進や雇用の創出 ・エコツーリズム及びエコツアーガイドの育成の推進 ・観光施設整備並びに観光地の維持管理と保全 ・来島者の満足度向上や地域活性化に向けた整備 ・新たな産業創出と雇用の確保 ・雇用の創出に向け奄美群島一帯となった施策の展開 ・ふるさと納税制度の推進による地域活性化

重要業績評価指数（KPI）	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
地域経済循環率（%）	**76.0%**	**81.0%**

具体的施策		
（1）ICT 等情報教育関係施設・設備事業		
重要業績評価指数（KPI）	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
全国学力・学習状況調査 ICT 活用状況（%）	（小学校）65.6 （中学校）63.4	（小学校）80.0 （中学校）80.0
特別教育支援員数（人）	0	3
（2）環境保全型農業事業		
重要業績評価指数（KPI）	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
堆肥生産量（t）	2,173.2	3,000

（3）食育及び地産地消の推進		
重要業績評価指数 （KPI）	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
地域食材を使った料理や郷土料理教室参加数（人）	延べ176人	延べ200人
農林漁業体験数 （植付と収穫）（人）	延べ207人	延べ230人
（4）新規漁業者育成事業		
重要業績評価指数 （KPI）	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
新規漁業者数（人）	2	7
（5）エコツアーガイド育成事業		
重要業績評価指数 （KPI）	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
エコツアーガイド認定者 （人）	10	20
（6）観光振興事業		
重要業績評価指数 （KPI）	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
観光入込客数（人）	80,503	150,000
（7）ふるさと納税活用事業		
重要業績評価指数 （KPI）	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
寄付金額（千円）	526,349	750,000

＜基本目標２＞
教育環境の充実と子育て環境の充実したまちづくり

<table>
<tr><td>基本目標</td><td>地域振興の原点は何といっても人材である。
人材育成において教育力や教育環境の格差は、離島において重要な課題となっている。プログラミングや外国語といった技術的な能力だけではなく、若年層において人生を肯定し新時代を切り開いていけるように、多様な価値観の中での生き方や社会参加を促す視点を育てることが大切である。また、文化財や歴史・自然資料の収集・保存・研究・教育普及を核とする取組を推進し、本町に暮らす人々の「ふるさと愛」の醸成に寄与する。
併せて、心の健康はもとより、ICT・IoT社会に対応する健康づくり（健康管理）も重要となっており、生きる力を育むために、「やったことがない」、「聞いたことがない」、「感じたことがない」等から生まれる、弱点をなくす環境を作り出すことも必要である。
本町では、この課題に真摯に向き合い、きめ細やかな対応を行うことで、健康増進や疾病予防、高齢者の見守りなどのネットワーク化、地域の実情に応じた支え合い体制の構築、高齢者の生きがいづくり、介護予防事業等や安心して子どもを産み育てられる環境づくりを展開し、だれもが幸せを感じることができるまちづくりを目指す。</td></tr>
<tr><td>基本的方向と数値目標</td><td>・集落の維持・活性化のため、核となるリーダー等の人材育成・確保
・子育て家庭が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進
・幼児教育における教育の質の向上
・各種文化財などの調査や郷土資料の取集等の保護・活用
・地域の活力維持・活性化を図るための、空き家を活用した移住定住促支援
・障がいのある方が、自立した日常、社会生活を営むことができる障がい福祉施策の充実
・健康寿命の延伸と医療費の適正化
・社会参加・生活支援・介護予防を一体的に推進
・育児や介護を地域の中で助け合い、支えあっていく、福祉サービスの充実
<table>
<tr><th>重要業績評価指数（KPI）</th><th>令和5年度基準値</th><th>令和 11 年度目標数値</th></tr>
<tr><td>合計特殊出生率</td><td>2.25</td><td>2.25</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

具体的施策		
(1) 地域コミュニティ形成事業		
重要業績評価指数 (KPI)	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
自治会組織数(地区)	29	29
(2) 教育環境整備事業		
重要業績評価指数 (KPI)	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
特別教育支援員数(人)	0	3
(3) 子育て支援事業		
重要業績評価指数 (KPI)	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
待機児童数(人)	0	0
(4) 家庭教育支援事業		
重要業績評価指数 (KPI)	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
家庭教育講座参加数(人)	1,628	2,000
(5) 郷土文化活用・継承事業		
重要業績評価指数 (KPI)	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
郷土資料館入館者数(人)	1,400	2,000
(6) 移住定住促進事業		
重要業績評価指数 (KPI)	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
補助金活用移住者数 ＜累計＞(人)	3	10
(7) 人にやさしい地域社会づくり事業		
重要業績評価指数 (KPI)	令和5年度 基準値	令和 11 年度 目標数値
地域生活への移行数(人)	29	20
特定健診受診率(%)	38	60
長寿健診受診率(%)	38	60

＜基本目標３＞
自然環境の保全と観光産業を両立するまちづくり

<table>
<tr><td>基本目標</td><td>　徳之島は、この地域だけに生息する希少な固有種や絶滅危惧種等が数多く生息しており、生物多様性の生息域内保全にとって最も重要な自然の生息・生育地を包含した地域として、令和3年7月 26 日に世界自然遺産登録されました。豊かな自然を守るためには、自然環境及び生態系の保護・保全や海岸漂着物の処理・抑制、野良猫対策・飼い猫の適正飼養を推進することが重要である。
　また、将来にわたり持続可能な循環型社会を構築するためには、太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用を推進し、地球温暖化防止に努める必要がある。
　本町では、豊かな自然環境を守りながら、住環境の整備や地域情報化及び循環型社会などを推進していくことにより、人と自然が共生するまちづくりを目指す。</td></tr>
<tr><td>基本的方向と数値目標</td><td>・総合的な環境保全政策と世界自然遺産の価値の保全に向けた取組
・自然環境・生態系の保護、保全
・新たな観光資源の発掘や案内板の設置、トイレや休憩施設等の観光施設整備並びに観光地の維持管理と保全
・デジタルやアナログを活用した多角的な観光PR
・不法投棄やポイ捨てを未然に防ぐ取組
・地域の産業振興や雇用創出にもつながるエネルギーの地産地消の取組
・森林環境譲与税を活用した木材利用の促進
・地域コミュニティの活性化及び地域情報発信の充実
・公園緑地の整備
・住環境の充実

<table><tr><th>重要業績評価指数（KPI）</th><th>令和5年度
基準値</th><th>令和 11 年度
目標数値</th></tr><tr><td>アマミノクロウサギ
生息確認メッシュ数</td><td>90</td><td>105</td></tr></table></td></tr>
</table>

具体的施策		
（1）魅力発信事業		
重要業績評価指数（KPI）	令和5年度基準値	令和 11 年度目標数値
観光ツアー参加数（人）	2	10
町公式 SNS 登録者数（人）	1,700	3,000
（2）海岸漂着物対策事業		
重要業績評価指数（KPI）	令和5年度基準値	令和 11 年度目標数値
海岸漂着物回収量（t）	79.8	60.0
（3）再生可能エネルギー導入事業		
重要業績評価指数（KPI）	令和5年度基準値	令和 11 年度目標数値
再生可能エネルギー導入施設数（箇所）	9	11
（4）森林整備及び林業の振興		
重要業績評価指数（KPI）	令和5年度基準値	令和 11 年度目標数値
森林整備面積（ha）	97	12
林産物（薪）生産量（㎥）	111	138
（5）長寿命化支援事業		
重要業績評価指数（KPI）	令和5年度基準値	令和 11 年度目標数値
総合運動公園長寿命化（%）	30.0	50.0
（6）公営住宅整備事業		
重要業績評価指数（KPI）	令和5年度基準値	令和 11 年度目標数値
改修工事戸数	12	20